

存在の耐えられない軽さ (1988)

THE UNBEARABLE LIGHTNESS OF BEING

メディア 映画

ジャンル ドラマ

製作国 アメリカ

色彩 Color

時間 173分

初公開日 1988/10/29

公開情報 松竹富士

【解説】

「ライトスタッフ」で一躍有名になったP・カウフマンが68年のチェコ動乱、いわゆる“プラハの春”を題材にして描いた超大作。若者の間に芽生えた民主化要求の波がソ連軍の軍事介入で圧殺されていく中、プレイボーイの医師と二人の女の青春が鮮烈に描かれる。古いニュース・フィルムと本編の画調を完璧に合わせるといふ離れ技を、ベルイマン作品で鳴らした名カメラマン、スヴェン・ニクヴィストが見事にやってのけている。

有能な脳外科医で女好きのトマシュは、画家のサビーナをはじめ多くの女性たちと自由な関係を楽しむ奔放な独身生活を謳歌していた。そんなある日、ウェイトレスのテレーザと出逢い、同棲生活を始めるトマシュ。それでも彼の女癖は相変わらずだった。ソ連の軍事介入により、ジュネーブへと逃れる2人。しかし、テレーザはトマシュの女癖に堪えられずプラハに戻ってしまう。彼女を追ってトマシュもプラハに戻るのだが…。

【クレジット】

監督	フィリップ・カウフマン	Philip Kaufman	
製作	ソウル・ゼインツ	Saul Zaentz	
製作総指揮	ベルティル・オルソン	Bertil Ohlsson	
原作	ミラン・クンデラ	Milan Kundera	
脚本	ジャン＝クロード・カリエール	Jean-Claude Carrière	
	フィリップ・カウフマン	Philip Kaufman	
撮影	スヴェン・ニクヴィスト	Sven Nykvist	
音楽	レオシュ・ヤナーチェク	Leos Janacek	
	アラン・スプレット	Alan Splet	(選曲・編集)
	マーク・アドラー	Mark Adler	(オリジナル音楽 及びアレンジ)
出演	ダニエル・デイ＝ルイス	Daniel Day-Lewis	トマシュ
	ジュリエット・ピノシュ	Juliette Binoche	テレーザ
	レナ・オリン	Lena Olin	サビーナ
	デレク・デ・リント	Derek De Lint	
	エルランド・ヨセフソン	Erland Josephson	
	パヴェル・ランドフスキー	Pavel Landovsky	
	ドナルド・モファット	Donald Moffat	
	ステラン・スカルスガルド	Stellan Skarsgard	